

「金融仲介機能のベンチマーク」

～2020 年度 of 取組み実績～

「金融仲介機能のベンチマーク」を活用した取組状況について

◇当金庫の取組方針

当金庫は、「地域社会の発展に寄与する」を基本方針に掲げ地域金融機関として、「地域の課題解決」や「地域の持続的発展」の実現に向けた様々な取組みを行っております。

地域が持続的に発展していくためには、地域に雇用場を創出し、若者世代が地域に流入する仕組みを作ることによって経済を活性化させ、地域住民が安心して生活できる環境を整えていく必要があります。そのために当金庫は、地域の課題である少子高齢化、空き家・空き地問題に注力し、近居・住み替え促進事業である「巡リズム®」を施策として推進しております。また、中小零細企業の悩みやニーズを把握し課題解決を図るために、「事業性評価（企業の事業内容や成長可能性などの適切な評価）」の取組みや、不稼働設備、空き工場、空きスペース等のマッチングや知的財産等を再活用した産業活性化の支援活動、いわゆる当金庫が掲げる「育みイズム」の活動が地域社会の発展に貢献できるものと考えております。

これらの実現に向けて「金融仲介機能のベンチマーク」等を活用し、当金庫の取組みを自己点検・自己評価を行い、金融仲介機能をさらに高めてまいります。

※「金融仲介機能のベンチマーク」とは

2016年9月に金融庁が、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を「見える化」し、その質を高めていくために自身の取組みの進捗状況や課題等を客観的に自己評価することができる多様な指標（共通ベンチマーク・選択ベンチマーク・独自ベンチマーク）として策定されました。

○共通ベンチマーク

全ての金融機関における金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するためのベンチマークであり、金融仲介機能の究極の目的として位置づけられています。（5項目）

○選択ベンチマーク

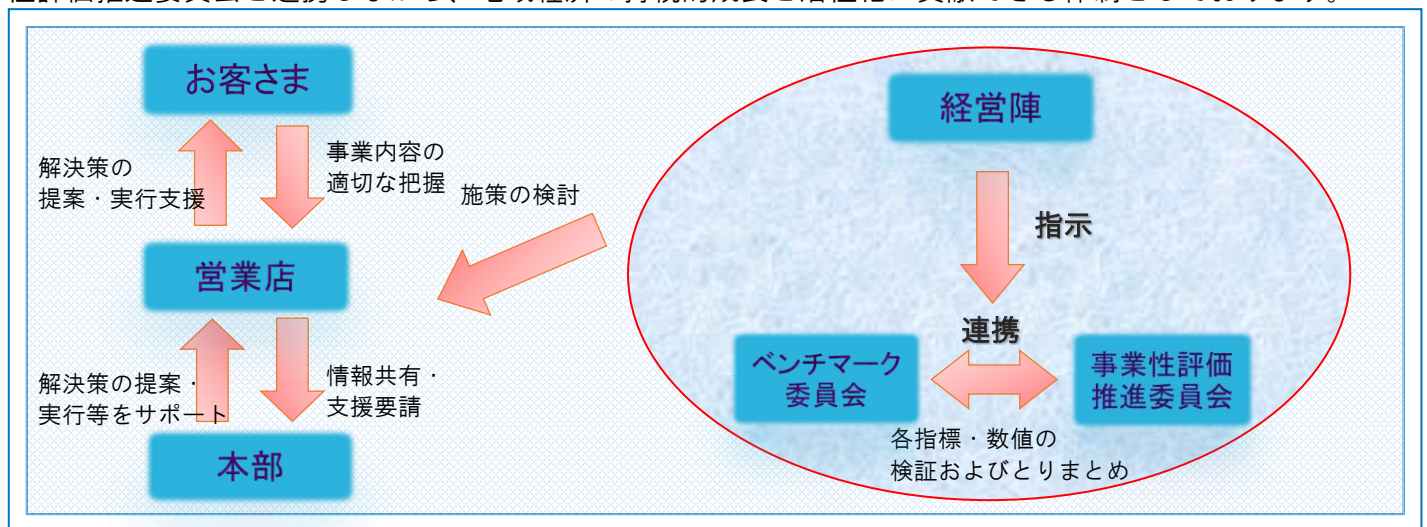
金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえ選択できるベンチマークであり、金融仲介機能の目的を達成するためのツールとして位置づけられています。（50項目より選択）

○独自ベンチマーク

上記のほか、金融機関において金融仲介の取組みを自己評価する上で、より相応しい独自の指標がある場合には、その指標を活用しております。

◇推進体制

営業店と本部が一体となって実効性の高い取組みを実現するため、ベンチマーク委員会を構成し事業性評価推進委員会と連携しながら、地域経済の持続的成長と活性化に貢献できる体制としております。



◇共通ベンチマーク

共通ベンチマーク 1 ～取引先企業の経営改善や成長力の強化～

当金庫をメインバンク*¹としてお取引を頂いているお客さま 2,143 先
当金庫をメインバンクとしてお取引を頂いているお客さまの融資残高 1,107 億円
うち経営指標が改善したお客さま 859 先
経営指標が改善したお客さま*²へのご融資残高の推移

2020年3月 2021年3月
500億円 661億円

当金庫をメインバンクとしてお取引を頂いているお客さまの約 40.0%に経営指標の改善がみられます。

*¹メインバンク…

当金庫の融資残高が最も多い先を指します。

*²経営指標が改善したお客さま…

当金庫がメインバンクとしてお取引を頂いているお客さまのうち、前年度よりさらに経営指標（売上、営業利益率、労働生産性等）の改善や就業者数の増加が見られたお客さまのことを指します。

共通ベンチマーク 2 ～取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上～

貸付条件変更先の経営改善計画の進捗状況
条件変更総数 145 先 好調先 1 先 順調先 9 先
不調先 135 先（うち改善計画未作成先 104 先）
*定義

売上及び営業利益の計画対比を算出し、カテゴリ別に【好調先】120%超 【順調先】80%～120% 【不調先】80%未満とし、掲載しております。なお、経営改善計画のない先及び決算期末到来先は不調先に含めております。

共通ベンチマーク 3 ～設立 5 年以内の先で該当年度に融資や相談等で支援を行った件数～

2020 年度、当金庫が関与した創業融資件数 241 件
うち第二創業関与先 13 件
2020 年度「創業祝い金」贈呈先 3 先

2020 年度の主な取組み事項

創業計画の策定支援・創業支援機関の紹介
「ひらしん若手経営者の会」への無料参加
創業後のモニタリング支援・各種ビジネスマッチングへの参加
税理士や司法書士の紹介
大東市ビジネス創造センター「D-Biz」の活用

創業支援の取組み

当金庫は、産業競争力強化法に基づく創業支援スキーム（地方公共団体、商工会議所、日本政策金融公庫、当金庫と連携）を北河内 7 市と締結し、積極的に取組んでいます。

創業祝い金制度

産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」に認定されている自治体（北河内 7 市）で創業される方のうち、創業支援対応型融資「アシスト」をご利用いただいた方を対象に『創業祝い金』として 1 社 10 万円を贈呈しております。（毎年度取組み順に 30 社限定。その他一定の贈呈条件がございます。）

共通ベンチマーク 4 ～ライフステージ別の与信先数、残高～

| | 全与信先 | 創業期 | 成長期 | 安定期 | 低迷期 | 再生機 |
|-------------------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| ライフステージ別の与信先数 | 4,245 | 487 | 405 | 2,910 | 302 | 141 |
| ライフステージ別の与信残高(億円) | 1,702 | 131 | 252 | 1,070 | 102 | 146 |

【創業期】創業、第二創業から 5 年までの先

【成長期】売上高平均で直近 2 期が過去 5 期の 120%超

【安定期】売上高平均で直近 2 期が過去 5 期の 120%～80%

【低迷期】売上高平均で直近 2 期が過去 5 期の 80%未満

【再生期】貸付条件の変更または延滞がある先

決算データがない先または不完全な先は、安定期に計上しております。

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み

共通ベンチマーク 5

～担保・保証依存の融資姿勢からの転換～

事業性評価に基づく与信先数 1,200 先・融資残高 388 億円
上記計数の全与信先数に占める割合 28.3%

全融資残高に占める割合 22.8%

事業性評価に基づく融資を行っている先は、事業性評価カードを作成した不動産・建設業を除く 5 百万円以上の融資先及び創業支援融資「アシスト」「開業サポート」等の創業支援融資をご利用頂いた先に限定しております。

2020 年度の事業性評価の取組み

取引事業先の活性化へ様々な支援活動を実施

- ・ビジネスマッチング・・・220 先
(販路拡大、企業間連携)
- ・外部専門機関の紹介および活用・・・88 先
(大阪府立産業技術研究所、北大阪高等技術専門学校、税理士等)
- ・中小企業支援策の活用・・・13 先
(ものづくり補助金、D-Biz 等)
- ・提案型融資の推進
(設備資金、遊休土地利用等)
- ・経営改善の相談・提案

◇選択ベンチマーク

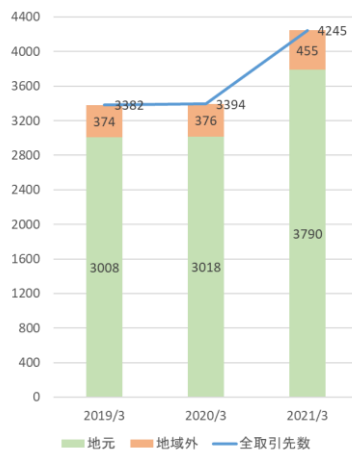
地域へのコミットメント・企業とのリレーション

選択ベンチマーク 1

～全取引先数と地域の取引先数の推移及び地域の企業数との比較～

| | 全取引先数 | 地元 | 地域外 |
|--------|--------|--------|------|
| 2019/3 | 3,382先 | 3,008先 | 374先 |
| 2020/3 | 3,394先 | 3,018先 | 376先 |
| 2021/3 | 4,245先 | 3,790先 | 455先 |

地元・地域外の取引先数



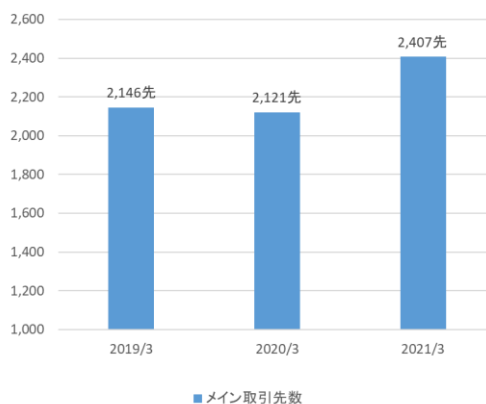
* 地元とは、当金庫の主要営業地区である北河内 7 市のことを指しています。

選択ベンチマーク 2

～メイン取引先（融資残高 1 位）の推移及び全取引先数に占める割合

| | メイン取引先数 | 全取引先数に占める割合 |
|--------|---------|-------------|
| 2019/3 | 2,146先 | 63.5% |
| 2020/3 | 2,121先 | 62.5% |
| 2021/3 | 2,407先 | 56.7% |

メイン取引先数



選択ベンチマーク 7

～地元の中小企業与信先のうち、無担保与信先数及び無担保融資額の割合～

| 地元中小企業与信先数 | 地元中小企業与信残高 | 無担保融資先数 | 無担保融資残高 | 無担保先比率 | 無担保額比率 |
|------------|------------|---------|---------|--------|--------|
| 3,790先 | 1,298億円 | 3,051先 | 408億円 | 80.5% | 31.4% |

◇独自ベンチマーク

～北河内7市との包括連携協定に基づく地域活性化の取組み～

当金庫は2014年11月28日公布の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、主要営業地区である北河内7市の「地方版総合戦略」に参画してまいりました。その中で「まち」・「ひと」・「しごと」において次のような地域共通の課題が浮かび上がりました。

- 人口減少と少子高齢化が進む中、若者世帯の流出が進み空き家が増加、子育て世代の流入も減少し、街の活力低下が止まらない。
- 企業はグローバル化に伴い海外シフトが進行しており、下請けを中心とした地域の事業所、特にものづくり企業の減少が止まらない。また、事業主の高齢化による廃業・休業も増加傾向にある。



当金庫はこれらの課題に対して地方創生モデル『巡リズム®』・『育みイズム』を提唱し、2016年度より具体的な取組みを開始し、これを独自ベンチマークとすることでお客さまとの対話に活用しております。

<巡リズム®関連>

北河内7市内の内、枚方市、寝屋川市、交野市、四條畷市は働く世代が良質な住まいを求めて移り住むことで「まち」が形成されてきました。まさに「良質な住環境」が地域資源となっております。しかし、近年は少子高齢化、核家族化が進み高齢者のみの世帯が増加し、空き家も増加傾向となっております。

『巡リズム®』は、高齢者の方を中心に様々な角度からサポートし、「ひと」の課題を解決へと導く取組みです。

(2020年度実績)

- 課題を抱えた高齢者からの相談受付件数 : 1,889 件
- 高齢者の住替え、所有している不動産の有効活用などの課題解決提案件数 : 1,573 件



<育みイズム関連>

北河内7市にはものづくり企業が点在しており、特に大東市では市との連携で2016年4月から大東市地域のものづくり企業約300社を対象に遊休資産調査を実施しました。

ものづくり企業が多い守口市・門真市も産業活性化への取組みが活発であり、自治体・商工会議所・地域金融機関が連携してネットワークを形成しております。その中で、ビジネスマッチング等を行い、「しごと」の活性化の一助となりました。

(2020年度実績)

- 工場・機械設備の売買または賃貸の相談受付件数 : 63 件



※当金庫の取組みと関連付けて特に注力するベンチマーク項目のみ抜粋し、掲載しております。